

vol.112

2021 年 6 月号

公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

(新事務局所在地 2021 年 6 月 21 日～)

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館 4 階

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL: <https://www.niceheart.or.jp>



な い す は あ と



ふれあいのスポーツ広場鹿児島大会の様子

表紙／写真 ふれあいのスポーツ広場鹿児島大会	1
報告／ふれあいのスポーツ広場鹿児島大会	2
報告／2020 年度 ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究	4
お知らせ／賛助会員御礼他	7
お知らせ／事務局移転について	8



ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場鹿児島大会

と き 2021年4月5日（月）

ところ 鹿児島市民体育館 鹿児島県鹿児島市坂之上 1-21-1

主 催 全日本自動車産業労働組合総連合会／（公財）国際障害者年記念ナイスハート基金

後 援 内閣府／スポーツ庁／鹿児島県／鹿児島市／鹿児島市教育委員会

ふれあいのスポーツ広場鹿児島大会が、鹿児島市において4月5日に開催されました。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定した全ての大会が中止となったため、コロナ禍における初めての大会となりました。午前中のみの限られた時間の中、感染予防対策を徹底しながら新たに開発した競技による運営となりましたが、参加者のご協力により無事に終えることができました。上半期の開催は鹿児島大会を除き、新型コロナウイルス感染再拡大のため中止になりましたが、下半期での再開に向けて、より安全・安心で楽しんで頂ける大会を模索していきたいと思ひます。

※参加者の状況

	施設名	参加者数		
		合計	障害者	家族・職員
参加施設	セカンドハウスきずな野	34	22	12
	きずな学園	48	26	22
	デイセンターゆう	31	21	10
	参加施設／団体合計	113	69	44
関係者等	自動車総連鹿児島地協	51		
	自動車総連本部	5		
	来賓	1		
	タレント・インストラクター	4		
	ナイスハート基金	5		
	実行委員／来賓合計	66		
	参加者総計	179		

来 賓 鹿児島市健康福祉局福祉部長 山内 竜二 様

実行委員 自動車総連鹿児島地協（議長 吉海江 俊也）

競技指導 日本福祉大学スポーツ科学部 学部長 藤田 紀昭 先生

日本福祉大学スポーツ科学部助教 児玉 友 先生

司会進行 桂 扇生 / 花仙

参加施設 3施設

参加者数 113名

実行委員他 66名

合 計 179名



じゃんけんダンス

～スケジュール～

(実行委員)

- 会場入場後～ 2週間前からの健康観察記録表の確認
実行委員全員の検温
- 8:45 ～ 全体実行委員会
会場設営、競技用具・衛生用品準備等
競技リハーサル
- 10:00 ～ 参加施設全員の検温
検温実施後入場
※ 3か所の入口から密を避けて入場
来賓受け入れ
- 10:30 ～ 開会
主催者挨拶 / 来賓ご挨拶
注意事項説明(手指消毒液の使い方)
- 10:35 ～ 準備体操 ストレッチ
第1競技 じゃんけんダンス
指導：日本福祉大学 スポーツ科学部 藤田紀昭先生 / 兒玉友先生
アルコール消毒タイム
アトラクション～桂 扇生～
- 11:10 ～ 第2競技 風船シュート
アルコール消毒タイム
アトラクション～花仙～
- 11:25 ～ 第3競技 風船パス
- 11:35 ～ 閉会
参加者退場(1施設ずつ順番に)
片付け(備品類のアルコール消毒等)
- 12:30 ～ 解散

～運営時の感染予防対策(一部抜粋)～

□各種車両にて到着の場合

到着された参加施設ごとに主催者と連携をとり、1施設ずつの誘導を行い、入り口などでの密になる状況避ける。

□検温

会場入口において、非接触型サーモグラフィにて体温確認を行う。発熱がある場合には、入場をお断りする。

□アリーナ入場時

参加施設ごとに、異なる入り口から入場をお願いする。

□靴の履き替え

密を避けるために、ブルーシートを用意し、選手席までは外履きで対応可能なように養生する。

□感染予防の観点から、受付は廃止

□参加者には全員イスを用意し着席いただく。イスの間隔は1.5mを下限とする。

□施設と施設の間隔は、5mを下限とする。

□参加施設ごとに選手席にて手指用アルコール消毒液を配布し、消毒の励行を依頼する。

□当日感染予防対策品として、手指用アルコール消毒液、マスク、ごみ袋、ペットボトルの水を配布する。

□開会式は、従来のように整列せず、選手席において実施する。

※参加施設及び運営に携わる実行委員、それぞれに感染予防対策の徹底を事前に周知した。



風船シュート



風船パス

2020 年度 ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究の報告

～障害福祉サービス事業所に対するアンケート調査～

～はじめに～

2019 年度からはじめた「ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究」と題した調査は、初年度として各地で取り組みを行っている団体への訪問調査を行い、活動のきっかけやスポーツの内容、協力団体の状況、現状での課題などを聞き取り、共通する要点を明らかにするべく実施し、報告書としてまとめることができました。

2020 年度には、地域を基盤とした、社会参加のためのユニバーサルスポーツの実例と障害福祉サービス事業所との連携の状況を明らかにすることを目的として、障害福祉サービス事業を主な対象として web によるアンケート調査を実施いたしました。障害のある方にとって、大きな社会資源である障害福祉サービス事業所の取組の現状と課題を整理し、地域におけるスポーツを通じた取り組みの拡がりを求めて、報告書をまとめました。

一方では、2020 年はじめから猛威を振るっている、新型コロナウイルス感染症により、2020 年度には私たちの活動も大きな影響を受け開催を断念せざるを得ない状況となりました。障害者スポーツの分野でも、各地の取り組みが大きく縮小しています。長い年月をかけて積み重ねられてきた取り組みをどのような形で継続していけるのか、その取り組みのきっかけとして、モデルプログラムの研究も併せて行いました。福祉領域の活動が、お互いの距離を詰めていく活動として取り組まれてきた中で、人との距離を保つという感染症対策との両立をいかに目指していくのかを考える一助にいただければ幸いです。

～調査・研究目的・調査方法～

当基金の設立目的である、よりよい社会づくりのために協働し共生社会づくりへの一助とするため、障害福祉サービス事業所及びユニバーサルスポーツの提供団体と連携し、障害の有無に関わらず行うことのできるスポーツプログラムの充実に寄与することを目的に、この研究を実施する。

①障害福祉サービス事業所におけるユニバーサルスポーツの取り組みの状況を明らかにする。

②地域を基盤とした、社会参加のためのユニバーサルスポーツの実例と障害福祉サービス事業所との連携の状況を明らかにする。

(1) 実施主体

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金及び有識者による研究会

日本福祉大学スポーツ科学部長・教授 藤田 紀昭さん

立命館大学産業社会学部教授 金山 千広さん

桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授 林田 はるみさん

(2) 調査・研究の期間

2 年間（2019 年度～ 2020 年度）

2019 年度：各地のユニバーサルスポーツを行っている団体への訪問調査

2020 年度：障害福祉サービス事業所に対するアンケート調査

(3) 新型コロナウイルス感染症流行への対応

2020 年を通じて流行していた新型コロナウイルス感染症の影響と、ユニバーサルスポーツへの影響を考察するため、調査項目に新型コロナウイルス感染症への対応などを追加すると共に、安全で安心なプログラム開発と運営についてのモデルプランを提示するために、2020 年 11 月 30 日に仙台市において、リハーサル大会と題したプログラムを試行した。

～調査方法～

(1) 調査方法

無記名式のインターネット調査

(2) 調査内容

主な調査項目は、以下のとおりである。

1. 施設・団体について

施設・団体の基本的な属性 / 施設・団体の規模 / 提供サービスの内容

2. サービス利用者について

利用者の基本的な属性

3. レクリエーション活動について

実施しているレクリエーション活動の内容 / 新型コロナウイルス感染症の影響 / スポーツの実施、運営

4. ユニバーサルスポーツについて

(3) 調査対象及び回収結果

当基金が把握している障害者団体、障害福祉サービス事業所に e-mail にて送付したほか、全国手をつなぐ育成会連合会さまにご協力を頂き、236 件の回答を得た。

～要点の整理（一部抜粋）～

※新型コロナウイルス感染症に関する事柄※

○実施しているレクリエーションと新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった活動の対比

問 3-1 実施しているレクリエーション活動（複数回答）と問 3-2-1 今年流行をした新型コロナウイルス感染症の影響により、施設内外を問わず実施を見合わせた行事（複数回答）のクロス集計

レクリエーション活動		実施している	見合わせた	見合わせた 比率
利用者交流	宿泊を伴う旅行・キャンプ	89	80	90%
	宿泊を伴わない旅行・遠足	170	147	86%
	利用者間の交流会	136	95	70%
	バザー・お祭りなどのイベントの開催	155	145	94%
	地域で開催される行事への参加	157	146	93%
文化活動	観劇・音楽鑑賞等	91	77	85%
	カラオケ大会	108	84	78%
	音楽演奏	57	39	68%
	絵画・書画・クラフト等	97	25	26%
運動や スポーツ	利用者間の交流を目的とした運動やスポーツ	151	119	79%
	地域住民などとの交流を目的とした運動やスポーツ	42	42	100%
	利用者を対象にした運動やスポーツ教室	103	74	72%
	競技大会などへの指導者・選手の派遣	47	43	91%
	その他	13	12	92%

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見合わせた活動について、どのような活動が中止となったか、実施数と中止数を対比した。多くの行事が中止となっているが、事業所内で開催される比較的一人で取り組むことができるであろう、絵画・書画・クラフト等については、中止となった比率は低い。逆に事業所外との交流が目的の活動や協力が必要と考えられる活動、あるいは移動が伴う旅行やスポーツ競技大会への参加については中止率が高かった。

問 3-2-4（新型コロナウイルス感染症による影響で中止となった活動の再開要件は？）の記述回答は次の通り分類できた。

ワクチン・治療薬 / コロナ患者の減少 / コロナの収束 / コロナの意識・認識 / 医療体制 / 感染対策
プログラム開発 / 運営方法の検討

流行状況や医療体制の整備、ワクチンの接種など、事業所自体では取り組みの難しい回答が目立つ。事業所自体の判断と同時に、保護者などの理解も重要な要件となるため、各事業所においても難しい状況にあると整理できる。一方で、しっかりと感染症予防対策をした中での再開を検討しているとの回答もあった。

2020 年度の報告書には、全てのアンケート調査の集計は勿論のこと、要点の整理並びに課題と提言に向けたクロス集計も掲載しています。また、有識者の方々から「新型コロナウイルス感染症流行を踏まえたユニバーサルスポーツの取組」や「新型コロナウイルス流行下における障害者スポーツの取り組み」「オンラインによるスポーツ・運動指導の取り組み」等のコロナ禍におけるトピックもありますのでご一読頂ければ幸いです。

※当基金 HP「ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究 2020 年度報告書」

(https://niceheart.or.jp/?page_id=1624)

ナイスハートなご支援をありがとうございました

2021年3月から6月迄の間に、当基金へ賛助会員加入や寄付金並びに特定寄附金を頂戴いたしました。

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当基金の活動も大きな影響を受けている中、今後の活動に向かう上で、たいへん励みになります。

いただきました資金は、それぞれの活動のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

【賛助会員】

ふじ健介様、（一社）山梨県心身障害児（者）を守る会あゆみの家様、（特非）自立支援センター歩歩路 理事長 潤口良一様、（福）七草会風ととくべえ 施設長 植木 正弘様、（特非）えびの福祉作業所様、（特非）なないろ様、赤羽治彦様、宇津峰十字の里様、（福）上口福祉会障害者支援施設まがたま様、さやか工房様、（福）美谷会美谷の風 管理者 早田和弘様、（福）美谷会美谷の里 管理者 井上基久様、自立支援センターほのほの様、あさひの丘様、（特非）きのこハウス様、（一財）たんぼぼの家 理事長 播磨靖夫様、だんでらいおん様、（福）フォーレスト八尾会様、（特非）やまぼうし 理事長 伊藤 勲様、（特非）ハートスポット 理事長 種澤 勝一様、ワークステージやた様、（福）吾子の里様、（福）貴桃会たんぼぼ作業所様、八代学園様、（特非）栗山町手をつなぐ育成会様、みどり園マウントヒルズエステート様、（福）宗友福祉会みどり園様、しののめ作業所様、佐賀市身体障害者福祉会連合会 長崎武彦様、軽石義則様、阿波就労支援センターアスカ 理事長 笠井光顯様、袴成光様、（福）泉学園障がい者デイセンターさくら様、（福）徳誠福祉会徳誠園 園長 風晴 賢治様、（福）自然の森 理事長 蜂谷克和様、（福）さざんか会のまる様、（特非）サンサンいわた様、つくし園 施設長 永井裕二様、スマイル水戸かがやき様、（福）斉信会様、（福）哲人会小倉園様、（福）創樹会様、

（福）ゆうかり様 理事長 水流源彦様、（特非）松阪市手をつなぐ育成会様、（株）コミュニティライフプロモーションズ様、京都市手をつなぐ育成会西京支部 会計 津田郁子様、（特非）知的障害者のくらしを考える会 理事長 中島 代志美様、（福）湊明会多機能型事業所 花椿かがやき様、（福）県北会 理事長 荒木正年様、（公社）日本エアロビック連盟様、（福）ナザレの村かすがの里様、（福）ナザレの村あじさい様、（特非）海田なかよし実習所様、八風・マーヤの園 管理者 丹羽一誠様、（特非）しらゆり様、（学）仙台育英学園 理事長 加藤雄彦様、（福）ひろびろ福祉会様、（特非）翠の家 理事長 後藤敏之様、（特非）わっこ自立福祉会みなハウスわっこ様、（株）全国儀式サービス様、桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部 教授 林田はるみ様、（特非）愛和報恩会様、（福）あかぎの響 理事長 下田健次様、（特非）ドリームサポートたんぼぼ様、（福）四ツ葉福祉会 理事長 青戸雄一様

【寄付金】

岩佐浩一様、（特非）みのりの会様、鈴木英仁様、池田敏憲様、子浩法律事務所 弁護士 小林浩平様、（福）たちばな会第一たちばな学園様

【特定寄付金】

戸井田和彦様、（株）スマイルリフォーム 代表取締役 松井宏之様



事務局移転について

現在の事務局所在地である、ゆうらいふセンターの立替工事に伴い、事務局が移転します。移転先は芝パークビルになります。

移転の日程 2021 年 6 月 19 日 20 日

移転先 〒 105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館 4 階

電話番号 変更無し (03-3434-2170)

FAX 番号 変更無し (03-5401-0681)

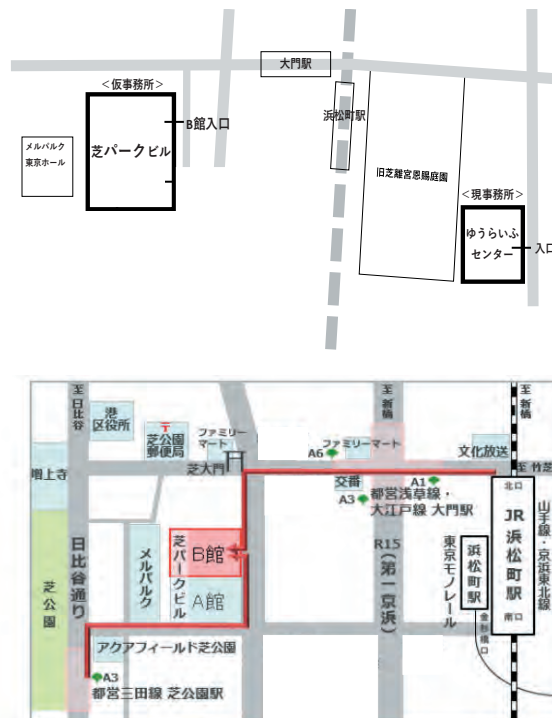
Web サイト 変更無し (URL:<https://www.niceheart.or.jp>)

e-mail アドレス 変更無し (info@niceheart.or.jp)

新事務局の執務開始予定 2021 年 6 月 21 日 (月)

※なお、ゆうらいふセンター立替完了時には、再移転の予定です。

※新ゆうらいふセンター竣工予定 2023 年 3 月



交通 JR・モノレール「浜松町駅」下車北口徒歩 8 分
都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門駅」下車 A 3 又は A 6 出口徒歩 4 分
都営地下鉄三田線「芝公園駅」下車 A 3 出口徒歩 4 分